

家庭教育学級

令和5年度
第2号



だより



R05. 10. 19



編集：札幌市教育委員会 家庭教育学級担当

日に日に秋が深まってきましたが、家庭教育学級の活動も年度の折り返しの時期になりました。後半の活動も充実した内容になるようご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

栄中学校の学習会にお邪魔しました



7月6日（木）に札幌地方裁判所で開催された、栄中学校の第1回学習会を見学させていただきました。（裁判所見学に人数制限があるため、7月5日（水）と2日間に分かれて開催されました。）

はじめに、実際の裁判で使用する法廷に案内していただき、裁判官、検察官、弁護士、証人、被告人を学級生全員で分担して、「デパートで腕時計を盗んだとされる事件」のシナリオに沿って、刑事裁判の流れを体験しました。今回のシナリオは有罪か無罪か判断に迷う事件で、学級生の意見も分かれていましたが、活発な意見交流が行われ、問題点が深められていました。また、皆さんのドラマさながらの白熱した演技からは、学級生同士の仲の良さも垣間見えました。模擬裁判の後は、法廷内を自由に見学することができ、法服を着用しての記念撮影や裁判官の席に座るなど、お楽しみ要素もありながら、広報担当の方に「書記官になるには？」「司法研修生とは？」「ドラマと実際の裁判の違いは？」など、たくさんの質問をして、司法制度等について学んでいました。その後は、実際の裁判を傍聴し、ドラマや報道では伝わらないリアルな緊張感を体感されたとのことでした。

成年年齢の引き下げに伴って、18歳から裁判員に選ばれる可能性があり、法教育の必要性も高まっている中、安心して暮らせる社会を作る一員として、お互いの権利を考えながら、社会のルールを守ることの大切さを家庭でも話し合うきっかけになったのではないかと思います。

お忙しい中、学習会を運営していただいた栄中学校家庭教育学級学級長はじめ関係の方々から感謝申し上げます。ありがとうございました。



宮の森小学校の学習会にお邪魔しました

7月19日（水）に開催された佐藤 FP オフィス 代表の佐藤友美先生による第1回学習会を見学させていただきました。

今回は「子育て世代のマネープラン 子どもの教育費いくらかかる？どう貯める？」をテーマに、佐藤先生ご自身の子育ての経験も交えながらお話いただき、具体的で示唆に富むたいへん有意義な学習会でした。

親として子どもには豊かな人生を送ってほしい、子どもが希望する進路選択の実現のためにできることはしてあげたいと思うものですが、住宅

ローンや親の介護費用など個別の様々な事情に加え、昨今は物価の高騰が続いていることもあり、子どもの教育費はどのぐらい準備が必要なのか、とても気になるところです。

学習会では小学校から大学までの平均的な教育費について説明していただき、お子様の将来を想像しながら「我が家の教育費プラン」を記入して、いつ頃にどのぐらいの金額が必要になるか確認を行ったほか、貯金が出来ている方は、いつ・いくら必要なのか目的を明確にし、毎月の残ったお金を貯金するのではなく、「先取り貯金」している等のお話や、18歳満期の学資保険に加入していても、保険金受取日が大学等の入学金や授業料の納期後になっているケースもあるなどの説明があり、収入と支出のタイミングを把握しながら準備することが重要と感じました。

佐藤先生のお話を聞き、保険やスマホ代など家計における固定費の見直しや子育て支援策として行われている様々な制度について、家に帰ってから調べた方も多かったのではないのでしょうか。また、親の姿を見て、子どもたちの金銭感覚が養われるのではないかと思います。

最後に佐藤先生から「今この瞬間を大切にしながらこれから先、3年・5年・10年を考える今の収入や貯金は、あくまで今までの結果 これから先を変えていく 平均や周りは気にしない 私らしく生きていく」のメッセージに前向きな気持ちになるとともに、ライフプランを考えるきっかけになりました。お話しいただいた佐藤友美先生、学習会を運営していただいた宮の森小学校の学級長はじめ関係の方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



平和幼稚園の学習会にお邪魔しました



9月22日（金）に開催された、親・子の片づけマスターインストラクター 整理収納アドバイザー 川村 あゆみ先生による第3回学習会を見学させていただきました。

「生きる力をはぐくむ 親子の片づけ」をテーマに行われた学習会は、冒頭、片づけの仕組みや家族の関係性について、診断シートを使って自己診断を行い、片づけの課題を確認しました。川村先生から「子どもとの片づけでどんなことに困っていますか」の声かけに対しては、学級生の皆さんから「置き場所が決まっているのに戻さない」

「お友達からもらった手紙をずっととっておくと言う」「片づけないと捨てちゃうよ、と脅すような言い方はよくないが言ってしまう」など、お困りの声がたくさん挙げられ、周りの皆さんも頷きながら聞いている様子から、共通の悩みを多く抱えていることが伝わってきました。

川村先生からは、子どもが部屋を散らかしたままにしていると、親はついイライラしてしまうが、子どもは片付いていなくても困っておらず、認識にズレがあるため、頭ごなしに叱って子どもを変えようとするのではなく、自分の行動や関わり方を変えることが大切だと、ご自身の子育ての経験も交えながら説明いただき、子どもに合わせた片づけやすい仕組みづくりと関わり方を工夫して、子どもの「わかる」「できる」ことを増やしていく事が大切だというお話しが心に残りました。

今日からすぐにできることとして「出し入れの様子を観察する」「声のかけ方を変えてみる」「子どもをまきこむ」等のポイントを教えていただき、家に帰って、早速実践された方も多かったのではないのでしょうか。片づけというと、部屋をキレイにすることが目的だと考えてしまいがちですが、①選択力（大切な物を選び取る力）、②想像力（先の結果や相手の気持ちを想像する力）、③習慣力（しなければならないことを続ける力）等の「生きる力」をはぐくむことが目的とのお話を聞き、親子のふれ合いを通して生活能力を育てていく、家庭教育の大切さをあらためて感じるひと時になりました。

お話しいただいた川村あゆみ先生、学習会を運営していただいた平和幼稚園の園長先生ならびに学級長はじめ関係の方々には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



北野小学校の学習会にお邪魔しました

9月22日（金）に開催された豊平警察署生活安全課少年係長の金子明広警部補による第3回学習会を見学させていただきました。

「子どもたちを性被害から守るために」をテーマに行われた学習会は、SNS の利用に起因した性犯罪の傾向や実例を紹介していただき、ネット犯罪から子どもを守るために保護者ができることとして、「どのような使い方をしているか把握すること。」「フィルタリング設定を行い、不適切なことができないようにすること。」「家庭のルールを作り、スマホ依存にならないようにすること。」の3つのポイントを教えていただき、保護者の見守りが重要であることを学びました。

ネットが普及する以前から、交換日記など、子どもたちが情報共有して楽しむ手段は存在していましたが、ネットを通じると、知らない人とも簡単に繋がることできてしまいます。便利な反面、使い方を間違えると危険に晒されてしまうことを再認識し、家庭のスマホ利用ルールについて、あらためて話し合うきっかけになったのではないかと思います。

学習会の後半は、子どもたちを守るために、どのような手立てが必要か参加者同士で意見交換を行い、「日々変わりゆくネット環境に保護者がついていくのも難しい。」との参加者の声には、「規制をすり抜けて次々と現れる犯罪の全容把握は難しいが、子どもに変わった様子が無いか関心をもち続けることや、困ったことを相談できる関係を築くことが大切。」とお答えいただき、親子のコミュニケーションがいかに重要であるかをあらためて考える時間になりました。

また、北野小学校の家庭教育学級では、地域との連携も目指して活動を行っているとのことで、学習会には、まちづくりセンター所長や、スクールガードの方も参加されておりました。家庭教育学級が地域との繋がりを深める活動の一つになっているようで、とても嬉しく思います。

お忙しい中、貴重なお話を聞かせていただいた金子警部補、ご準備いただいた北野小学校家庭教育学級の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



今年度も親育ち応援団オンライン講演会を実施します！

親育ち応援団 オンライン講演会

おやのちから
親野智可等 先生の
激動の時代を生きる
子どもたちにいま何が必要か？
～ゲーム・スマホ・勉強・しつけ・反抗期・親子関係などへの向き合い方～

公開期間：
2024年 1月12日(金)
3月24日(日)

「さっぽろ家庭教育ナビ」
サイト内にて配信します。

教育評論家として講演や執筆活動を行うほか、人気漫画「ドラゴン桜」の指南役としても著名な、親野智可等さんを講師に迎え、標記講演会を実施します！
講演会に先立ち10/31（火）まで、お悩み相談を募集していますので、親野さんに聞いてみたい質問がありましたら、ぜひこの機会にご応募ください！
※質問等にはいくつか選んでお答えいただく予定です。

さっぽろ家庭教育ナビ

